



衆議院議員

自民党政調副会長 元農水・環境副大臣

小里やすひろ

おざと

後援会・自民党支部報
衆議院議員小里泰弘後援会
自民党鹿児島県第三選挙区支部
鹿児島事務所
鹿児島県薩摩川内市平佐1丁目10
TEL 0996-23-5888
FAX 0996-23-7111

決める。進める。結果を出す。地元 さつま町と共に。
小里泰弘は、町・県と一体となって郷土の事業を力強く推進中です。

地域を元気に。小里やすひろのチャレンジ トピックス 2021

1.北薩横断道路 宮之城道路(泊野-広瀬間)事業化決定、広瀬道路も加速

「溝辺道路」の事業化に続き、令和3年度、「宮之城道路」(泊野-広瀬10km)の事業化が決定しました。広瀬道路も予算を大幅拡大し、加速します。

【宮之城道路 総事業費】250億円

【広瀬道路事業費】令和2年度 22億円 → 令和3年度 40億円(補正予算含む)

【阿久根高尾野道路事業費】令和2年度 7億円 → 令和3年度 18億円(補正予算含む)



泊野道路完成式で

2.川内川治水を徹底推進-安全・安心な川づくりと豊かな暮らしを創出

平成18年7月の北薩豪雨以来、小里泰弘は川内川治水をライフワークとして徹底推進。「かわまちづくり事業」:屋地・虎居地区、ホテル地区、鶴田ダム周辺、湯田地区、時吉地区等

「鶴田ダム再開発事業」:令和元年1月完成

「河川激特事業」:虎居他13カ所築堤、河道掘削、輪中堤、推込分水路等、平成25年竣工

「二渡地区堤防強化事業」:令和3年度着工

【川内川全体事業費の推移】平成30年度 31億円 → 令和3年度 約 70億円



谷垣財務大臣(当時)を川内川へ案内

3.「川内宮之城道路」新広域道路交通計画で、改良・バイパス整備を推進へ

宮之城から西回り自動車道の湯田・西方インターチェンジを経て新川内港(令和3年度事業化)とを結ぶ構想。道路改良やバイパス整備など、重要広域道路として計画を進めます。

4.西回り自動車道 阿久根-川内間 予算を倍増して整備を加速化

昨年11月の川内側からの着工に続き、予算を倍増し、建設事業を加速化。

【阿久根-川内間予算の推移】令和2年度 16億円 → 令和3年度 約 33億円(補正予算含む)



川内川激特事業竣工式で

5.町道川口平川線道路新設工事等に地方創生道整備交付金を確保

北薩広域公園へのアクセス道路として、また、西回り自動車道や北薩横断道路と連携してバイパス効果が期待される「町道川口平川線」新設工事を国の地方創生道整備交付金で支援し、予算を確保。

【全体事業費】約10億円



日高町長と国交省へ要請活動

6.小さな拠点事業 きららの楽校-白男川小学校跡地利用オープン

白男川小学校跡地を活用した「小さな拠点事業」を支援。サロン活動、地元製品の販売、宿泊、交流等の拠点が令和元年4月完成しました。



きららの楽校オープン式典で

7.農業基盤整備・防災対策事業を推進 湯田原、柵野、宇子地区等

「農業競争力強化農地整備事業」 湯田原地区

【全体事業費】 6300万円

「水利施設等保全高度化事業」 柵野地区

【全体事業費】3億5700万円

「農地バンク関連農地整備事業」 柵野地区

【全体事業費】1億1700万円

「流木防止総合対策事業」 宇子地区

【全体事業費】3800万円(令和元年度新規事業)



鶴田ダム再開発事業完成式で

8.繁殖雌牛の「増頭奨励金」を継続。畜舎整備も柔軟に支援。

●増頭奨励金(24.6万円・17.5万円/頭)を継続します。

●簡易畜舎整備事業:牛舎面積の上限を拡大(13㎡→15㎡)、育成牛のスペース(3㎡/頭)も対象に追加します。

●畜舎建築時の建築確認申請が原則として不要になります。

●増頭要件なしの優良繁殖雌牛の導入支援(4万円・5万円)を継続します。

●家畜排せつ物対策を引き続き充実します。

地域の声が原動力。週末は地元(さつま町)に帰り フル回転



消防出初式で



地域の祭り



地域のミニ集会で



牛のセリ市で



龍泉祭で

花に水、人に心。小里やすひろの歩み



■衆議院議員連続5期当選 皆様の地元の代議士として

- 昭和33年霧島町生まれ。
- 霧島中、鶴丸高、慶応大学
- 野村證券で生きた経済を学ぶ。
- 労働大臣秘書官、震災大臣秘書官、総務庁長官秘書官等務める。
- 平成17年衆議院議員初当選。以来、連続5期当選。
- 薩摩川内市隈之城町在住



衆議院本会議で

■災害と闘う

日本一の治水事業を実現 川内川・米ノ津川が恵みの川へと

平成18年の北薩豪雨災害を受けて、小里やすひろは、築堤、掘削、分水路、ダム再開発、かわまちづくりなど、技術の粋を尽くした「日本一の治水事業」を実現。暴れ川が穏やかな「恵みの川」へと変貌しつつあります。



谷垣財務大臣を現地に案内 (平成18年7月)

東日本大震災対策を主導

当選二期目、東日本大震災に際し、小里やすひろは、自民党震災対策プロジェクトチーム座長に抜てきされ、幾多の現場視察をふまえ、避難所対策から復旧対策まで577項目の対策を民主党政権に提案。その多くが実行されました。



被災地を視察(平成21年3月)

口蹄疫と闘う



豪雨災害対策に



鳥インフルエンザに

赤潮被害対策に



新燃岳噴火対策



台風被害対策に



■夢と希望の持てる農山漁村へ

自民党農林部会 部会長として 失われた農政を取り戻す

当選三期目、民主党から政権を奪還し、自民党の農政の責任者として農業予算を回復。「農地・水・環境保全向上対策」、「飼料米制度」、「畜産増頭対策」、「六次産業化」等、新農政の指針を示しました。



自民党農林部会を指揮 (平成24年12月～)

農業・農村、健保を守る TPP決議をリード

TPP交渉に際し小里やすひろは、安倍総理と正面から向き合い、農業重要五品目や健康保険制度など「国益を守る決議」を策定し現場や国益を守る切り札となりました。



予算委員会で安倍総理と討論(平成25年3月)

農水副大臣・衆議院農水委員長 -現場本位の農政を推進

中山間地農業、小規模農業対策、畜産対策...現場本位の農政を推進。



衆議院農林水産委員会で答弁 (平成30年9月～)

鳥獣被害対策に。ジビエ振興議員連盟を設立

ジビエ(鳥獣肉)利用振興議員連盟を設立。議連幹事長として推進。



ジビエ試食会で

■環境副大臣・内閣府副大臣 震災復興や原子力防災に



原子力防災訓練を指揮

環境国際会議を主催

■政権奪還の最前線に 党副幹事長として



予算委員会で(平成22年2月)

■コロナと闘う

小里やすひろは、コロナ対策チームメンバーとして現場や生活を支援する対策を推進。

- 持続化給付金
- 中小企業資金繰り支援
- 雇用調整助成金
- 学生支援緊急給付金
- 医療提供体制の充実・強化、医療関係者支援
- 子育て世代支援給付金
- 農林漁業者経営継続補助金
- 観光・飲食業需要喚起支援策
- ワクチン接種体制整備等



地域の皆さまと意見交換会 (令和2年4月)

■自民党国土交通部会長として

道路づくり、まちづくり、観光振興、防災...与党の責任者として先頭に立って推進。



国土交通部会を指揮 (令和元年9月～)

現在の主な役職

- ・自民党政調副会長
- ・自民党地方組織・議員総局長
- ・自民党道路調査会副会長
- ・自民党農林食料戦略調査会副会長
- ・東京一極集中打破議員連盟幹事長
- ・西回り自動車道建設推進議員連盟幹事長等

小里やすひろはこんな男

信条

花に水、人に心

スポーツ

剣道・野球

趣味

釣り、読書、政策

尊敬する人物

西郷隆盛

好きな食べ物

たまご、コロッケ

愛読書

西郷南州翁遺訓

小里やすひろの五つの全力

- ①新型コロナウイルス対策を推進しつつ、経済再生を確かなものにします。
- ②生涯安心できる医療・介護・年金・子育て制度を確立し、誰もが活躍できる人生100年社会を創ります。
- ③夢と希望の持てる農林漁業と観光を推進し、元気な地方を創生します。
- ④防災・交通・物流・通信インフラの整備で安全で豊かな暮らしを創ります。
- ⑤国際社会に貢献しつつ日本の平和と国益を守ります。



頼もしい人格者

小里 泰弘
連合後援会長
前薩摩川内市長
岩切 秀雄

「小里さんは、決して人を悪く言わず、引き受けたことは誠実に実現する。頼もしい人格者です」

